

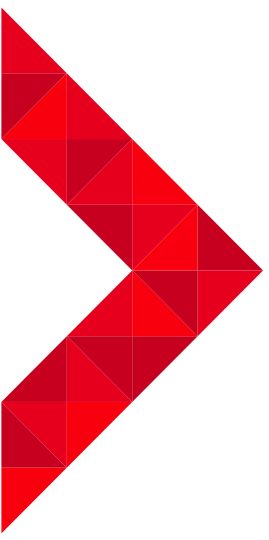


KIRIN

よろこびがつなぐ世界へ
Joy brings us together

キリングループ 2024年度12月期 第2四半期決算

2024年8月6日



企業価値向上に向けて

Joy brings us together



キリングroupは常に環境変化を乗り越え、継続的な成長の実現を目指す

将来の環境変化を見据えた最適な事業ポートフォリオを構築することで、企業価値向上を実現していく



➤ 中核事業の基盤を強固なものにすることがなによりも重要



酒類事業
update

- 日豪米の各エリアで勢いのある強いブランドが成長している



医薬事業
update

- グローバル戦略品の好調
- 開発パイプラインの拡充に向けて着実なステップを踏んでいる

➤ 次世代の成長ドライバーとなる事業も競合優位性を確立させていく



ヘルスサイエンス事業
update

- APACで事業基盤を確立するためのブランドと販路の獲得

M&Aにより取得した事業の多くはグループ内で着実な成長を実現

現事業ポートフォリオを構成している事業

売却済みの事業

M&Aにより取得した
事業会社によるEPS構成比

約40%



ボトラー事業のテリトリー拡大と必要な投資等による効率化により、収益性の大幅な向上を実現

2016年	2023年
事業利益 41億円	339億円
事業利益率 10%	14%



自社のR&Dから複数のグローバル戦略品の開発に成功し、グループの中核事業へ成長

2016年	2023年
事業利益 515億円	960億円
事業利益率 15%	22%



ABIブランドの譲渡、コロナ前後の市場の変化等の外部要因はあるが、事業価値向上に向けブランド強化・構造改革を実施中

2016年	2023年
事業利益 528億円	324億円
事業利益率 15%	12%



独占市場の中で、高い成長率を実現し、グループのEPS成長に貢献

2016年	2023年
持分法利益 約190億円	約300億円



米国のバーボン市場拡大を追い風に、プレミアム化を実現し、高収益事業に成長

2016年	2023年
事業利益 12億円	90億円
事業利益率 17%	37%

協和発酵バイオは早期に方向性を示すことを最優先に取り組んでいる

2020年以降のM&Aでは、北米クラフトビール事業やBlackmoresなど、今後も成長が見込まれる事業会社を取得。

1970s

1980s

1990s

2000s

2010s

2020s

ガバナンス体制強化

取得した豪州乳事業とブラジルのビール事業は当初の想定通りにかず撤退するも、M&Aや海外事業の知見を蓄積

中国飲料事業を現地企業とJVにより成長させ、取得価額を大幅に上回る価格で売却し、株主還元(自社株取得)を実施

2011年	2022年
取得金額 約330億円	売却金額 約1,200億円

ミャンマー事業は政変に伴う撤退までは想定以上の高い成長を実現

2016年	政変前(2020年)
事業利益 89億円	138億円
事業利益率 39%	43%

株式取得手続きの進捗

以下の条件により

なにげない感動をずっと。

FANCL

TOBプロセスを進める

- 買付価格：2,800円
- その他条件は変更しない

- 現時点における応募状況及び今後の応募の見通しを総合的に考慮
- 買付価格変更により応募を引き続き検討いただく機会を提供する
- 今後、一切、価格を変更しないことと、今回が最後の期間延長であることを8/6の取締役会で決定

15営業日延長

TOB期間

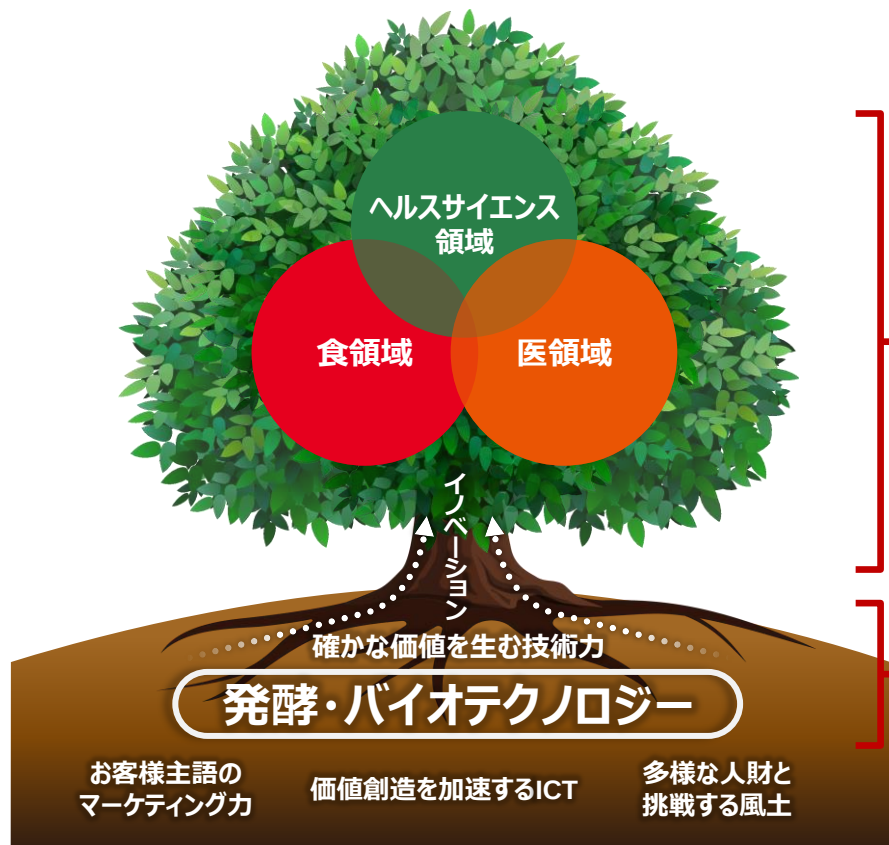
TOB期限
(再延長なし)

8/28

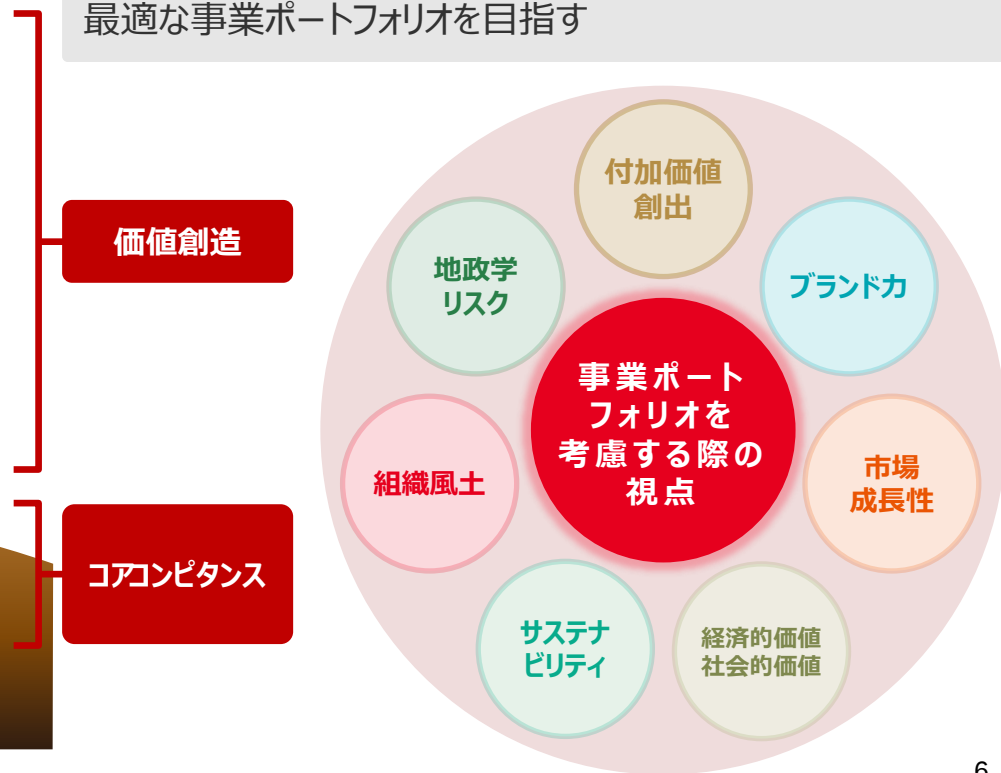
本件に対する考え方

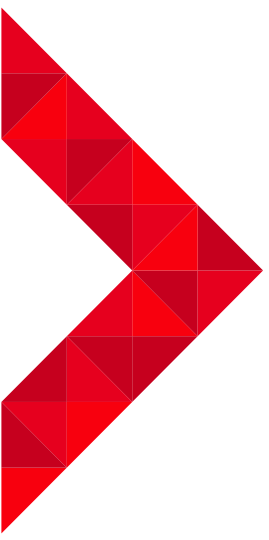
- 本件の成功は2019年に描いたグループビジョンの実現に向けた重要なステップ
- キリンがFANCLにとってのベストオーナーであり、本TOBは2社の企業価値向上に資する
- ただし、キリンホールディングスの株主利益の観点から、この価格で成立しない場合は、別の事業ポートフォリオの選択肢を検討していく

今後も企業価値向上に向けて事業ポートフォリオの見直しを常に行う



今後もCSVを経営の根幹に、発酵＆バイオ技術をベースとした事業を行うことに変わりはなく、戦略的意義に基づき3領域での最適な事業ポートフォリオを目指す





2024年 第2四半期決算概要

Joy brings us together



2024年度 2Q実績サマリー

各事業における売上収益の拡大や為替影響により、事業利益は大幅な増益を達成

(億円)	24年2Q実績	23年2Q実績	増減	%
売上収益	10,958	9,702	1,256	12.9%
事業利益 *	931	752	179	23.8%
税引前中間利益	1,085	571	515	90.2%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	572	320	252	78.9%

定量実績	24年2Q実績	23年2Q実績	増減	%
平準化EPS **	81円	73円	8円	11.0%

- 第2四半期の連結売上収益・事業利益は海外事業の好調や為替影響等により、計画を上回って推移
- 税引前中間利益と親会社所有者中間利益は、2023年の一時コスト***の反動により、増益
- 平準化EPSは連結事業利益の増加により8円増加となった

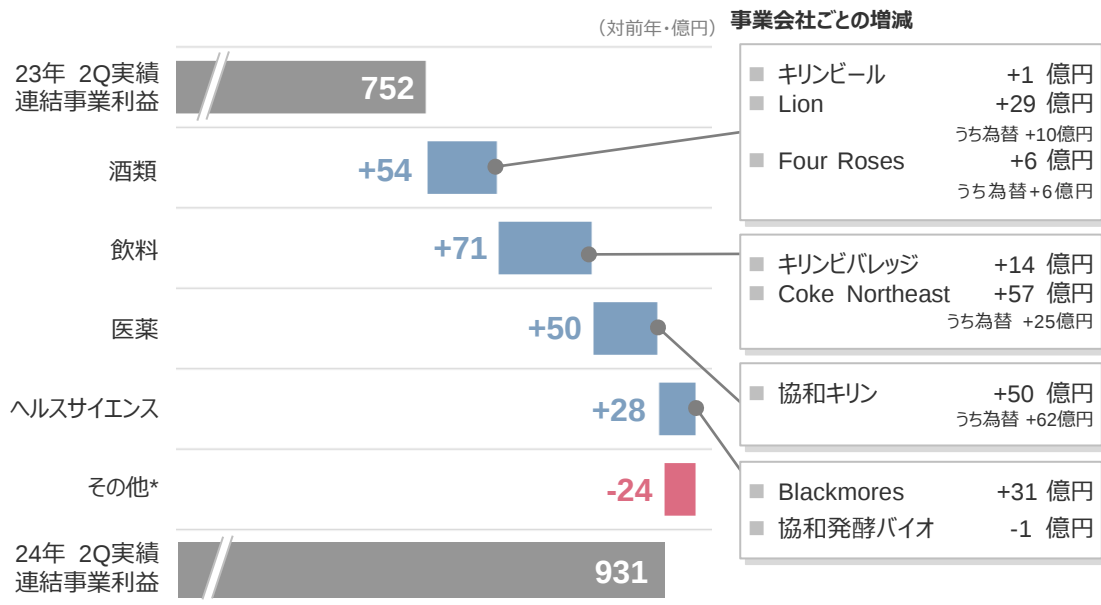
* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出

** 明細はp.20参照

*** ミャンマー事業の連結除外に伴う為替換算調整勘定(約190億円)の実現等

2024年度 2Q実績：連結事業利益 セグメント別損益増減

4つのセグメントがバランスよく増益し、全体で大幅な増益



* 「その他」は、「その他」と「全社費用/セグメント間取引消去」との合算値



全体

- ▶ ブランド投資や研究開発費を増額する中でも、各セグメントで売上収益が伸びたことや為替影響により、大幅な増益となった

酒類事業

- ▶ 主要市場である日豪米において大きな市場の変化はあるが、ブランド投資によりブランド力を高め、着実に増益を達成

飲料事業

- ▶ Coke Northeastは、価格改定による単価向上や為替影響により大きく増益。キリンビブレッジは主に売上収益が伸びたことによって増益

医薬事業

- ▶ グローバル戦略品を中心とした売上収益の増加や為替影響により増益

ヘルスサイエンス事業

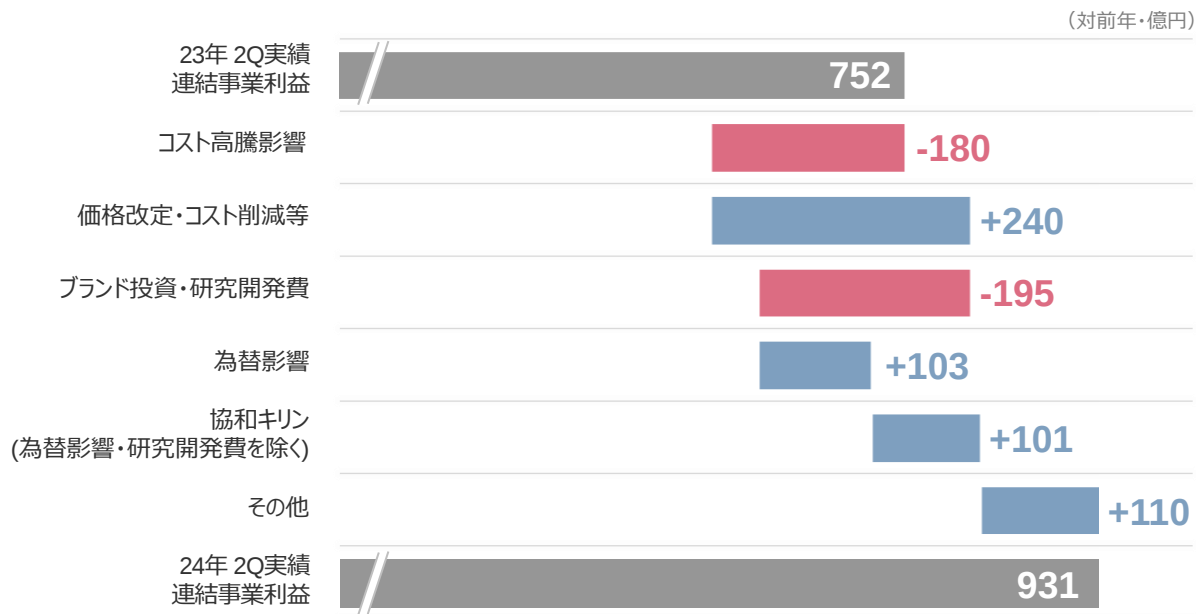
- ▶ Blackmoresの獲得に伴う収益貢献により、セグメント全体では赤字を縮小

その他

- ▶ 全社費用・セグメント間取引消去は、情報システム費用等が増加した

2024年度 2Q実績：連結事業利益 要因別増減

▶ グループ全体で原材料等のコスト高騰影響を上回る価格改定・コスト削減を実施できている



- ▶ 概ね計画通りブランド投資及び研究開発費を使用するも、それを上回る限界利益の増加や為替影響により増益
- ▶ 年間のコスト高騰及び価格改定・コスト削減等の収益改善額の年間見通しに大きな変更はない
- ▶ 2025年のコスト影響については、今後の交渉により変動するが対2024年でコスト減にはならない見通し

補足

コスト高騰影響：原材料費、燃料費、運搬費、人件費等

価格改定・コスト削減等：価格改定影響、SCMコスト削減、その他販管費削減他。価格改定による販売数量減少の影響を含まない

ブランド投資・研究開発費：キリンビール、キリンビバレッジ、Lion他におけるマーケティング投資の合計及び協和キリンの研究開発費の合計

為替影響：p.9に記載のLion、Four Roses、協和キリン、Coke Northeastにおける為替影響の合計

その他：各事業の売上収益増減による限界利益の増減、全社費用等の増減影響合計

2024年度 業績予想修正

➤ 売上収益は為替の影響等を勘案して上方修正し、事業利益については期初計画の達成を目指す

通期業績予想

※通期為替予想レートをそれぞれ以下の通り修正
豪ドル93円⇒97円 米ドル140円⇒151円

(億円)	24年通期 (修正あり)	23年通期 (実績)	対前年 増減	%	24年通期 (従来予想)	修正額	%	主な修正項目
売上収益	23,000	21,344	1,656	7.8%	22,700	300	1.3%	Coke Northeast+210 / 協和キリン+190 協和発酵バイオ-99 / キリンビール-79
事業利益	2,020	2,015	5	0.3%	2,020	—	—	協和キリン+90 / Coke Northeast+65 協和発酵バイオ-65 / Lion-38
税引前利益	2,160	1,970	190	9.6%	2,190	-30	-1.4%	
親会社の所有者 当期利益	1,140	1,127	13	1.2%	1,310	-170	-13.0%	法人所得税費用

+は期初に対して益方向、-は損方向への修正を指す

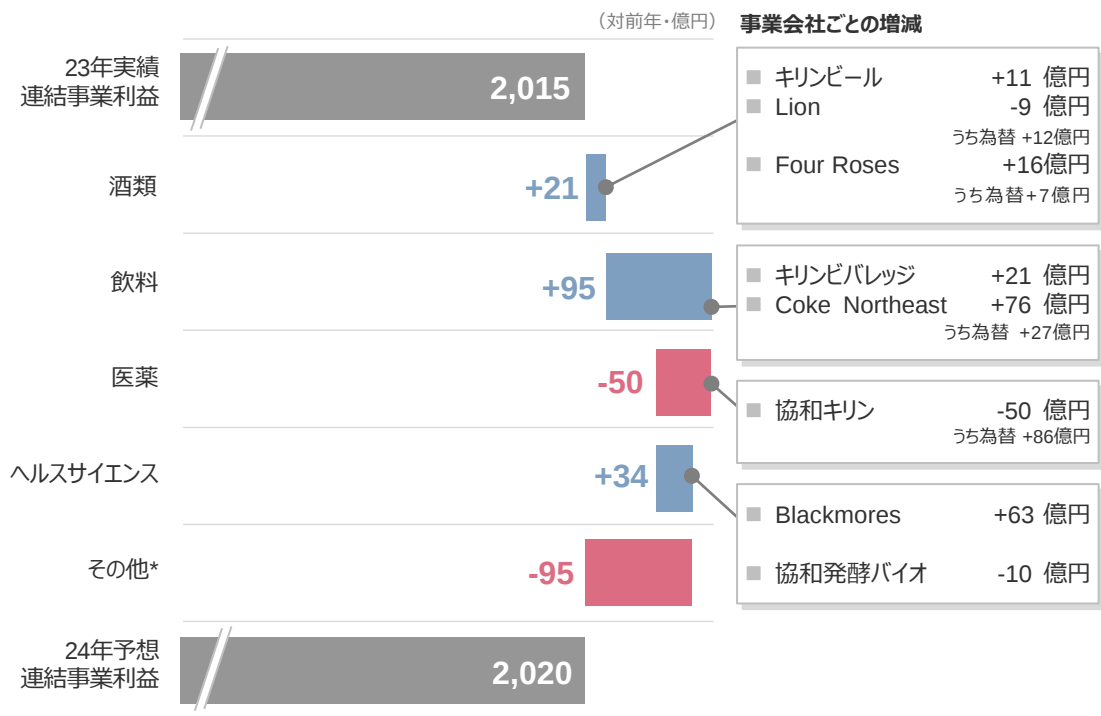
定量目標 / 通期予想配当金 (一株当たり)

	24年通期 (修正あり)	23年通期 (実績)	対前年 増減	24年通期 (従来予想)	修正額
ROIC	6.8%	8.0%	—	8.0%	—
平準化EPS	162円	177円	-15円	177円	-15円
年間配当金	71円	71円	—	71円	—

- 主に海外事業会社の資本構成の見直しに伴う課税所得の発生により、法人所得税費用が増加
- ROIC及び平準化EPSは、主に法人所得税費用の増加により下がる見込みだが、配当は変更しない

2024年度 業績予想修正：連結事業利益 セグメント別増減

➤ 医薬事業の減益や本社費用増を、他セグメントの増益で補完し、全体では増益を目指す



補足

酒類事業

➤ Lionは市場縮小により減益となるが、狭義ビール・RTD数量増加や減価償却費減少が寄与する麒麟ビールやFour Rosesにより増益

飲料事業

➤ Coke Northeastは価格改定による単価向上により、増益。麒麟ビバレッジは、限界利益の改善によって増益を目指す

医薬事業

➤ パイプラインの開発のための研究開発費増やOrchard社の取り込みの影響により減益

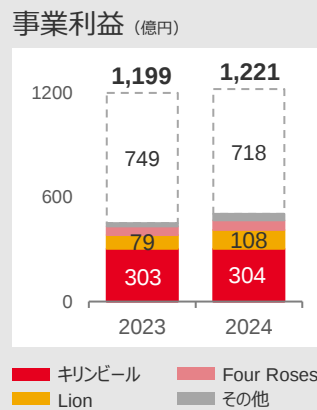
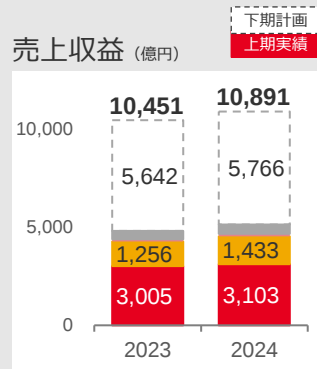
ヘルスサイエンス事業

➤ 協和発酵バイオは主にアミノ酸事業の苦戦により減益となる見込みだが、Blackmoresの獲得に伴う収益貢献により、セグメントとしては増益を目指す

その他

➤ 全社費用・セグメント間取引消去は主に人件費等が増加

* 「その他」は、「その他」と「全社費用/セグメント間取引消去」との合算値



・キリンビールの実績は酒税込売上収益を記載
© Kirin Holdings Company, Limited

上半期は厳しい市場環境がQ1から継続しているが、自社のブランド力は上がってきている
長期的に支持されるブランドのための投資は継続し、前年並みの利益水準を目指す

厳しい市場環境

- 世界的にアルコールに対する見方が厳しくなる傾向が継続
- 日豪米では、ビール類からRTDへのシフトが継続
- 日本国内は引き続き人口減などによりビール類市場の縮小が継続
- 豪州の経済環境は厳しく、インフレなどによりビール市場の縮小が継続
- 北米は過去伸びていたクラフトビール市場が縮小に転じている

自社の成果と今後の方針

- 市場環境は今後も大きな好転が見込めない中で、長期的に支持されるビールブランドへの投資と成長するRTDカテゴリーへの投資を強化
- 日豪米で好調なブランドが出てきており、市場環境によるネガティブ影響を相殺できている

日本



晴れ風と氷結ブランドの伸長が寄与し、狭義ビールとRTDで、計画を達成。下期も販促を強化する

豪州



2年連続の売上二桁成長を目指している

米国



市場が縮小する中、「Voodoo Ranger シリーズ」は伸長を継続

日本と北米で、経済状況や競争環境が大きく異なっている
日本は収益性改善に向けた単価向上に取り組み、北米は高い収益性を維持する

継続する市場環境

- ▶ 日本はプレイヤーが多く競争が激しいため、海外と比べて収益性が低い
- ▶ 日本は3年連続で価格改定が実施されるなど、業界全体で値上げの機運が出てきた
- ▶ 北米はインフレも落ち着き始め、消費環境は引き続き底堅い

自社の成果と今後の方針

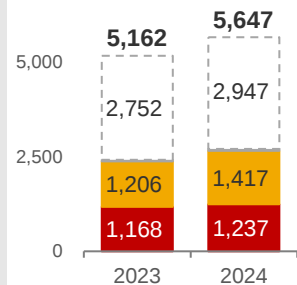
- ▶ 価格改定及び、差別化戦略としてヘルスサイエンス飲料に取り組むことで、単価向上を目指す



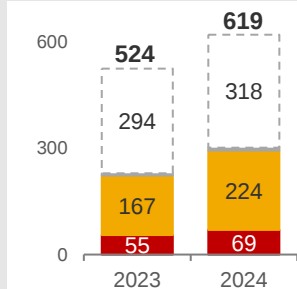
- ▶ 北米においては、価格改定による単価向上の実現とオペレーション効率化により、高い収益性を維持する



売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



■ キリンビレッジ ■ その他
■ Coke Northeast

注力するグローバル戦略品が堅調に推移している。パイプラインの開発も順調に進んでおり、適応拡大等による将来の見込み収益向上を狙う

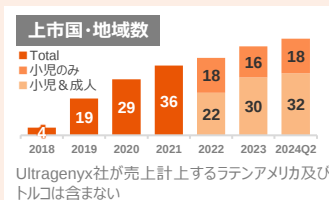
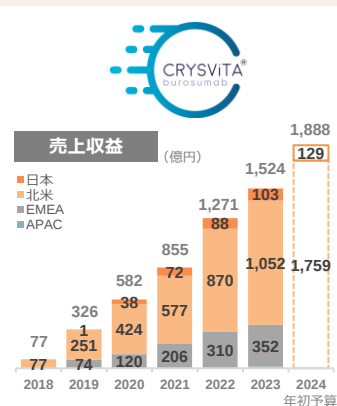
グローバル戦略品の成長

今後の成長に向けて

協和キリン

グローバル戦略品

エビデンスに基づくマーケティング・プロモーション活動の強化により成長を継続



EAP (Early Access Program) による収益は2022年度まで売上収益に含めず、2023年度以降は金額的に僅小になることから売上収益に含めている

KHK4083 / AMG 451 (rocatinlimab)

開発が順調に進捗

	開発ステータス	市場規模
アトピー性皮膚炎	1 2 Ph3 進行中	1兆円以上**
喘息	1 Ph2 開始	1兆円以上**
結節性痒疹*	1 2 Ph3 開始	5,000億円以上 1兆円未満**

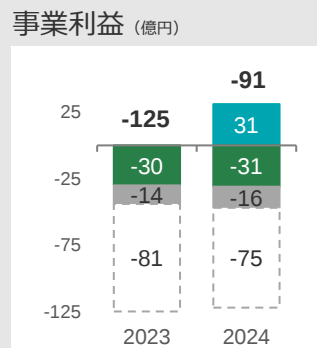
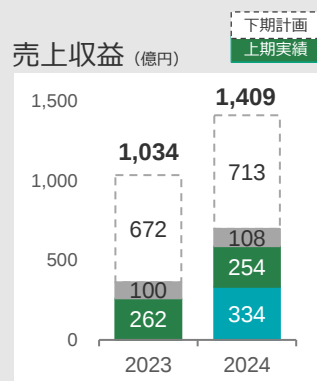
「Story for Vision 2030」

Life-changingな価値創出・提供のための戦略を確実に前進

- APAC事業の再編
- 2030年ビジョンの実現に向けた研究体制への移行



詳細はこちら



■ Blackmores ■ 協和発酵バイオ ■ その他

協和発酵バイオは、下半期の販売計画を保守的に見込み下方修正。Blackmoresや他の事業は、期初計画の達成を目指す

上半期の進捗

Blackmores

BLACKMORES
| GROUP

豪州・NZ

BioCeuticalsの力強い成長や4月以降の値上げ等により着実な増収を達成

東南アジア・韓国

ベトナムの粉ミルク事業での製造委託先切替遅れにより減収となったが現在は出荷を再開

中国

価格改定や広告投資により、+20%の増収

下半期の取り組み

- ▶ 豪州・NZ及び中国は、上半期の取り組みを継続し、下半期も期初計画の売上成長率の達成を目指す
- ▶ 東南アジア・韓国は昨年の過剰在庫解消の反動もあり、下半期は増収に転じる見込み

	豪州・NZ	+一桁半ば%
売上収益	東南アジア・韓国	+二桁%
(下期計画 対前年)	中国	+二桁%



プラズマ乳酸菌 事業

注) プラズマ乳酸菌入り飲料は「ヘルスサイエンス」セグメントに含まれないが、以下はプラズマ事業全体を示している

- ▶ サプリメントの売上収益は2桁伸張
- ▶ 飲料は主力商品である「おいしい免疫ケア」は伸長しているが、さらなる拡大に向けて新たな挑戦が必要なステージにきている

- ▶ 免疫ケアの需要が高まる秋冬でのプロモーションの強化により、期初計画達成を目指す

売上収益 +30% (年間計画 対前年)



協和発酵バイオ

- ▶ アミノ酸市場の軟調等により厳しい状況が継続

- ▶ 構造改革を最優先に取り組む
- ▶ スペシャリティ事業での限界利益最大化に引き続き注力していく

Social

“免疫ケア”を通じた「健康サポートアクション」「#ヒーローに免疫を」プロジェクトをスタート！



詳細はこちら



キリンのサッカー応援活動による社会的インパクトを初可視化

▶「キリンチャレンジカップ」「キリンファミリーチャレンジカップ」について、費用と生み出した社会的価値の比率を算出し、それぞれ8.0倍、1.4倍の価値創出に繋がっていることが判明



詳細はこちら

キリンのサッカー応援活動に関する社会的価値分析



電気の力で減塩食品の塩味やうま味を増強する「エレキソルトスプーン」を数量限定で販売を開始



詳細はこちら



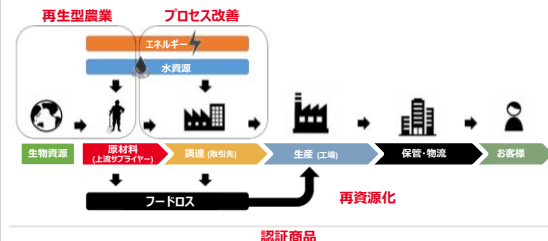
Environment

サプライヤーとGHG（温室効果ガス）排出量の削減を目指す「キリンサプライチェーン環境プログラム」をスタート

▶ 当社の中期目標「2030年までに2019年比でグループ全体のGHG Scope3排出量を30%削減」のうち、1/3に当たる10%の削減に寄与すると想定



詳細はこちら



開示媒体

「統合レポート2024」発行

詳細はこちら



▶ 価値創造モデルに沿いストーリー性を強化することでCSV経営の進捗をわかりやすく伝達することを目指した

「環境報告書2024」発行

詳細はこちら



▶ TCFD**提言やTNFD***提言など複数の開示フレームワークを統合し、環境経営情報の開示を試行

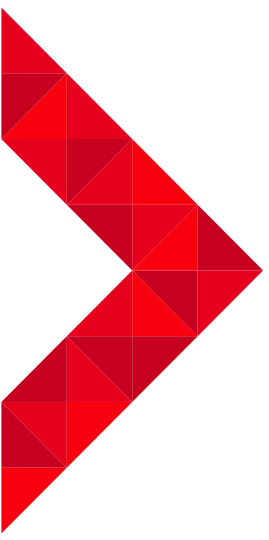
* Social Return on Investment 費用に対してどの程度社会的価値が創出されたかを倍率で示したもの

** Taskforce on Climate-related Financial Disclosures

*** Taskforce on Nature-related Financial Disclosures

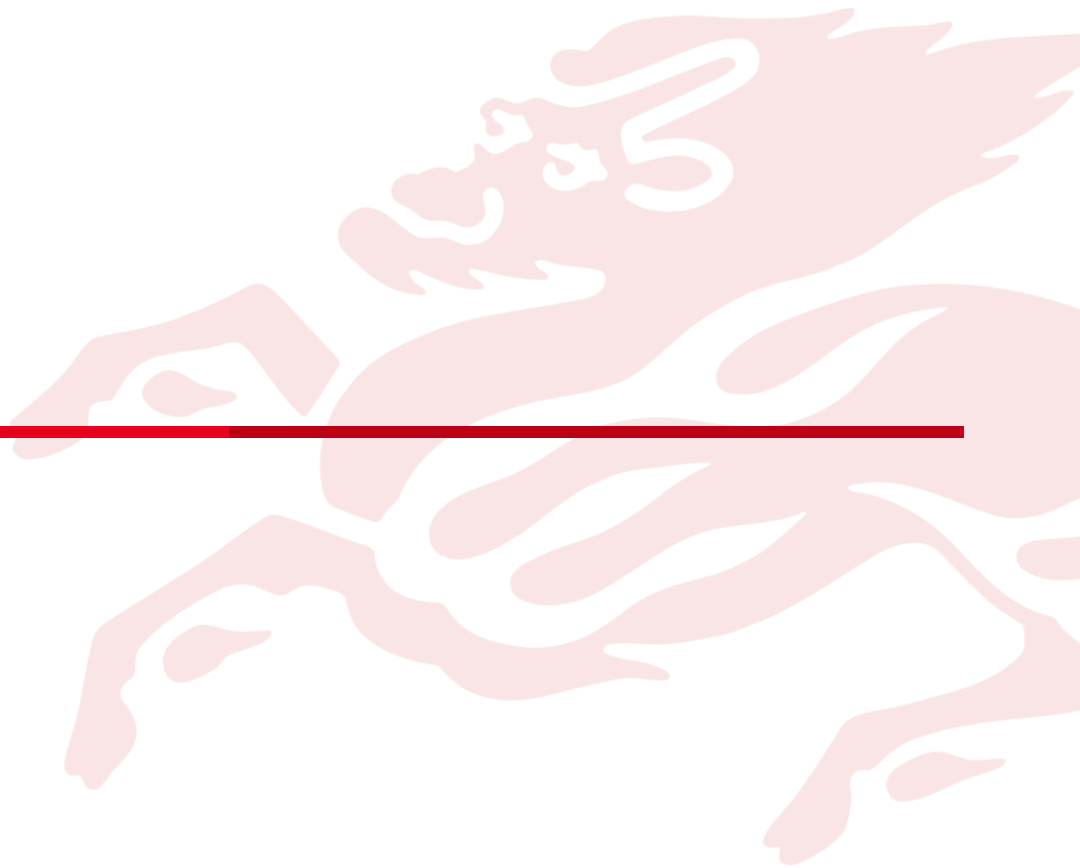


よろこびがつなぐ世界へ Joy brings us together



資料編

Joy brings us together



2024年度 2Q実績：平準化EPS 明細

(億円)		24年2Q実績	23年2Q実績
親会社の所有者に帰属する中間利益	①	572	320
税金等調整後その他営業収益／費用等	②	81	274
平準化 中間利益	③ = ① + ②	653	594
期中平均株式数 (千株)	④	809,892	809,834
平準化EPS (円)	③ ÷ ④	81円	73円

2024年度 2Q実績：セグメント別 売上収益

(億円)

連結 売上収益

		24年2Q実績	23年2Q実績	増減	%
酒類	麒麟ビール	5,125	4,809	316	6.6%
	Lion	3,103	3,005	98	3.3%
	うち豪州・NZ	1,433	1,256	177	14.1%
	うち北米クラフト他	952	870	82	9.5%
	Four Roses	481	386	95	24.6%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	125	115	9	8.2%
		464	433	31	7.1%
		2,700	2,410	290	12.0%
飲料	麒麟ビバレッジ	1,237	1,168	70	6.0%
	Coke Northeast	1,417	1,206	211	17.5%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	46	37	9	25.7%
		2,328	1,990	338	17.0%
医薬	協和麒麟	2,330	1,992	338	16.9%
	セグメント間取引消去	-1	-2	1	—
		696	362	334	92.2%
ヘルスサイエンス	Blackmores	334	—	334	—
	協和発酵バイオ	254	262	-8	-3.1%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	108	100	8	8.1%
		109	131	-22	-17.0%
その他		109	131	-22	-17.0%

2024年度 業績予想修正：セグメント別 売上収益

(億円)		2024年 修正予想	2023年 実績	対前年 増減	%	2024年 従来予想	予想 修正額	%
連結 売上収益		23,000	21,344	1,656	7.8%	22,700	300	1.3%
酒類		10,891	10,451	440	4.2%	10,928	-36	-0.3%
	麒麟ビール	6,687	6,481	206	3.2%	6,766	-79	-1.2%
	Lion	2,967	2,811	156	5.6%	2,963	4	0.1%
	うち豪州・NZ	2,027	1,988	39	2.0%	2,049	-22	-1.1%
	うち北米クラフト他	940	823	117	14.3%	914	26	2.9%
	Four Roses	273	245	28	11.4%	265	9	3.3%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	964	914	49	5.4%	935	29	3.1%
飲料		5,647	5,162	485	9.4%	5,442	204	3.8%
	麒麟ビバレッジ	2,761	2,578	183	7.1%	2,766	-4	-0.2%
	Coke Northeast	2,800	2,501	298	11.9%	2,590	210	8.1%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	86	82	3	4.2%	87	-1	-1.0%
医薬		4,920	4,419	501	11.3%	4,730	190	4.0%
	協和麒麟	4,920	4,422	498	11.3%	4,730	190	4.0%
	セグメント間取引消去	—	-4	4	—	—	—	—
ヘルスサイエンス	セグメント間取引消去	1,409	1,034	375	36.3%	1,468	-60	-4.1%
	Blackmores	689	320	370	115.6%	674	16	2.4%
	協和発酵バイオ	490	514	-24	-4.7%	589	-99	-16.8%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	229	199	30	14.9%	206	23	11.4%
その他		133	278	-145	-52.2%	131	2	1.4%

2024年度 2Q実績：セグメント別 事業利益

(億円)

連結 事業利益

		24年2Q実績	23年2Q実績	増減	%
酒類		931	752	179	23.8%
酒類	麒麟ビール	503	450	54	11.9%
	Lion	304	303	1	0.5%
	うち豪州・NZ	108	79	29	36.8%
	うち北米クラフト他	64	38	26	68.5%
	Four Roses	44	41	3	7.2%
	その他	55	49	6	12.7%
飲料		36	19	17	87.2%
飲料	麒麟ビバレッジ	301	230	71	31.0%
	Coke Northeast	69	55	14	25.0%
	その他	224	167	57	33.9%
		8	7	1	12.6%
医薬		411	361	50	13.7%
ヘルスサイエンス	協和麒麟	411	361	50	13.7%
	Blackmores	-16	-44	28	—
	協和発酵バイオ	31	—	31	—
	その他	-31	-30	-1	—
		-16	-14	-2	—
その他		-3	-4	1	—
全社費用・セグメント間取引消去		-265	-240	-25	—

2024年度 業績予想修正：セグメント別 事業利益

(億円)		2024年 修正予想	2023年 実績	対前年 増減	%	2024年 従来予想	予想 修正額	%
連結 事業利益		2,020	2,015	5	0.3%	2,020	—	—
酒類		1,221	1,199	21	1.8%	1,242	-22	-1.7%
	麒麟ビール	740	729	11	1.5%	735	5	0.7%
	Lion	315	324	-9	-2.7%	353	-38	-10.8%
	うち豪州・NZ	202	221	-19	-8.7%	245	-44	-17.8%
	うち北米クラフト他	113	103	10	10.1%	108	6	5.1%
	Four Roses	106	90	16	17.8%	98	8	7.9%
	その他	60	57	3	5.5%	56	3	5.9%
飲料		619	524	95	18.2%	552	66	12.0%
	麒麟ビバレッジ	190	169	21	12.5%	190	—	—
	Coke Northeast	415	339	76	22.4%	350	65	18.6%
	その他	14	15	-2	-12.8%	12	1	8.3%
医薬		910	960	-50	-5.2%	820	90	11.0%
	協和麒麟	910	960	-50	-5.2%	820	90	11.0%
ヘルスサイエンス		-91	-125	34	—	-26	-65	—
	Blackmores	58	-5	63	—	58	0	0.3%
	協和発酵バイオ	-95	-85	-10	—	-30	-65	—
	その他	-54	-36	-18	—	-54	-1	—
その他		-11	-1	-10	—	-11	0	—
全社費用・セグメント間取引消去		-627	-542	-85	—	-558	-69	—

2024年度 2Q実績：キリンビール

(億円)	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	3,103	3,005	98	3.3%
酒税抜売上収益	1,886	1,816	70	3.9%
事業利益	304	303	1	0.5%

23年2Q 事業利益 (億円)		303	主な内容
対 前 年 増 減	酒類等 限界利益増	69	ビール類計 2億 (ビール類減 -15千kl) ビール類以外計 22億 (RTD増 13千kl、ノンアル減 -0千kl) 他 価格改定・品種構成差異等 45億
	原材料費増	-46	市況の高騰等
	販売費増	-38	販売促進費増 -23億・広告費増 -14億 (計284億→322億)
	その他費用減	16	減価償却費減 他
	計	1	
24年2Q 事業利益		304	

(千KL)	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減 %	市場 (カテゴリー)
ビール類計*	664	679	-2.2%	-2%
RTD	206	194	6.5%	5%
ノンアルコール飲料	18	19	-1.4%	11%

* ビール酒造組合での合意により、ビール類の販売数量実績は、2Q及び4Qのみ開示

一番搾りブランド計	168	164	2.5%	7%
スプリングバレーブランド計	8	10	-21.9%	7%
淡麗グリーンラベル	66	70	-6.9%	-12%**
本麒麟	86	91	-6.2%	-12%**
氷結ブランド計	140	128	9.4%	5%

* 2023年度からビールカテゴリーの開示はビール類のみとし、主力ブランドとチャネル別の明細を記載

** 発泡酒・新ジャンル（発泡酒②）合算のエコノミーカテゴリー前年比を記載

販売数量前年比	増減 %	市場
ビール類 業務用***	-0%	+1桁前半
ビール類 家庭用***	-3%	-4%

*** 業務用：壺・樽・PET商品計、家庭用：缶計

2024年度 業績予想修正：キリンビール

(億円)		2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益		6,687	6,481	206	3.2%	6,766	-79
酒税抜売上収益		4,050	3,922	128	3.3%	4,093	-43
事業利益		740	729	11	1.5%	735	+5
2023年 事業利益 実績 (億円)		729	主な内容			2023年 事業利益 実績 (億円)	729
対 前 年 増 減	酒類等 限界利益 増	102	ビール類計 18億 (ビール類減 -3千kl) ビール類以外計 18億 (RTD増 18千kl、 ノンアル減 -3千kl) 他 価格改定・ 品種構成差異等 66億			酒類等 限界利益 増	119
	原材料費 増	-77	市況の高騰等			原材料費 増	-72
	販売費 増	-28	販売促進費・広告費増 (計 623億→650億)			販売費 増	-32
	その他費用 減	14	減価償却費減 他			その他費用 増	-9
	計	11				計	6
2024年 事業利益 修正予想		740				2024年 事業利益 従来予想	735

(千kl)	2024年 修正予想	2023年 実績	増減 %	2024年 従来予想	修正値
ビール類計	1,439	1,442	-0.2%	1,479	-41
RTD	442	424	4.2%	429	+13
ノンアルコール飲料	40	43	-6.2%	46	-6
一番搾りブランド計	374	370	1.0%	370	+4
スプリングバレーブランド計	16	21	-23.2%	26	-10
淡麗グリーンラベル	142	146	-2.9%	147	-6
本麒麟	187	194	-3.6%	188	-0
氷結ブランド計	294	288	+1.9%	273	+20

* 2023年度からビールカテゴリーの開示はビール類のみとし、主力ブランドとチャネル別の明細を記載

** 発泡酒・新ジャンル（発泡酒②）合算のエコノミーカテゴリー前年比を記載

2024年度 2Q実績 : Lion

円ベース (億円)

	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	1,433	1,256	177	14.1%
うち豪州・NZ	952	870	82	9.5%
うち北米クラフト他	481	386	95	24.6%
事業利益	108	79	29	36.8%
うち豪州・NZ	64	38	26	68.5%
うち北米クラフト他	44	41	3	7.2%

豪ドルベース (million AUD)

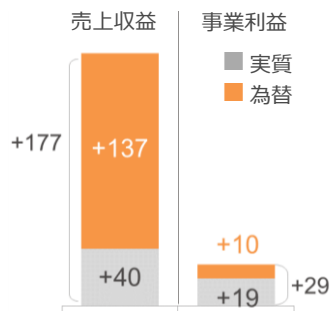
	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	1,415	1,372	43	3.2%
うち豪州・NZ	940	950	-10	-1.1%
うち北米クラフト他	475	422	53	12.6%
事業利益	107	86	20	23.7%
うち豪州・NZ	63	42	22	52.4%
うち北米クラフト他	43	45	-1	-3.1%

豪州・NZ事業利益増減 (million AUD)

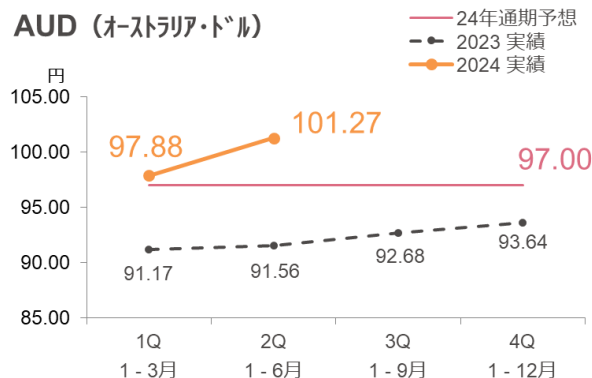
23年2Q 事業利益	41
数量	-11
豪州・NZ	
その他*	33
24年2Q 事業利益	63

- * 本社コストは、豪州・NZを含む
・ 対前年販売数量増減率は豪州・NZ・北米クラフト他の合計で-1%、豪州のみでは-2%。

連結為替影響
2024年2Q実績 (億円)



AUD (オーストラリア・ドル)



2024年度 業績予想修正 : Lion

円ベース (億円)

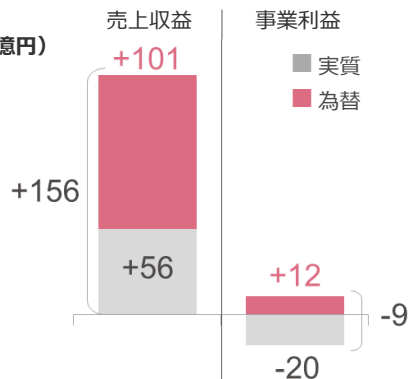
	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益	2,967	2,811	156	5.6%	2,963	4
豪州・NZ	2,027	1,988	39	2.0%	2,049	-22
北米クラフト他	940	823	117	14.3%	914	26
事業利益	315	324	-9	-2.7%	353	-38
豪州・NZ	202	221	-19	-8.7%	245	-44
北米クラフト他	113	103	10	10.1%	108	6

豪ドルベース (million AUD)

	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益	3,059	3,002	57	1.9%	3,186	-127
豪州・NZ	2,090	2,123	-33	-1.6%	2,203	-113
北米クラフト他	969	878	91	9.4%	983	-14
事業利益	325	346	-21	-6.5%	380	-55
豪州・NZ	208	236	-28	-13.4%	264	-56
北米クラフト他	117	110	7	5.9%	116	1

通期予想レート : 97.00円 (豪ドル)

連結為替影響 2024年予想 (億円)



2024年度 2Q実績：キリンビバレッジ

(億円)	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	1,237	1,168	70	6.0%
事業利益	69	55	14	25.0%

23年2Q 事業利益 (億円)		55	主な内容
対前 年 増 減	清涼飲料限界利益増	17	販売数量増 645万ケース 31億 商品・容器構成差異等 -14億
	原材料費等増	-6	原料費増 -15億、材料費減 1億、 加工費減 8億
	販売費減	9	販売促進費減 8億、広告費減 1億 (計121億 → 112億)
	その他費用増	-6	
	計	14	
24年2Q 事業利益		69	

販売数量 (万ケース)		24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減
清涼飲料計		9,270	8,626	7.5%
ヘルスサイエンス飲料		1,088	1,143	-4.8%
うちプラズマ乳酸菌入り飲料		446	405	10.1%
缶		970	1,072	-9.5%
容 器 別	大型PET	2,620	2,140	22.4%
	小型PET	5,009	4,521	10.8%
	その他	672	893	-24.8%

販売数量 (万ケース)		24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減
ブランド別	午後の紅茶	2,403	2,293	4.8%
	生茶	1,500	1,185	26.6%

2024年度 業績予想修正：キリンビバレッジ

(億円)	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%
売上収益	2,761	2,578	183	7.1%
事業利益	190	169	21	12.5%

2023年 事業利益 (実績) (億円)	169	主な内容
対前年増減		
清涼飲料限界利益増	103	販売数量増 582万ケース 27億 商品・容器構成差異等 76億
原材料費等増	-53	原料費増 -36億、材料費増 -13億、加工増 -4億
販売費減	5	販売促進費減・広告費減 5億 (計256億 → 251億)
その他費用増	-34	販売機器費増、業務委託料増他
計	21	
2024年 事業利益 修正予想	190	

2024年 従来予想	修正額
2,766	-4
190	-
2023年 事業利益 (実績) (億円)	169
対前年増減	
清涼飲料限界利益 増	152
原材料費 増	-77
販売費 増	-24
その他費用 増	-30
計	21
2024年 事業利益 従来予想	190

販売数量 (万ケース)	2024年 予想	2023年 実績	増減 %	2024年 従来予想	修正値
清涼飲料計	19,975	19,394	3.0%	19,516	459
ヘルスサイエンス飲料	2,677	2,460	8.9%	2,816	-139
うちプラズマ乳酸菌入り飲料	1,253	893	40.3%	1,242	11
缶	2,008	2,146	-6.4%	2,146	-138
容 大型PET	5,365	5,210	3.0%	4,822	543
器 別 小型PET	11,225	10,239	9.6%	10,904	321
その他	1,377	1,799	-23.4%	1,644	-267

販売数量 (万ケース)	2024年 予想	2023年 実績	増減 %	2024年 従来予想	修正値
午後紅茶	5,231	5,092	2.7%	5,104	127
ブランド別 生茶	3,098	2,781	11.4%	2,767	331

2024年度 2Q実績 / 2024年度 業績予想修正 : Coke Northeast

円ベース (億円)

	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	1,417	1,206	211	17.5%
事業利益	224	167	57	33.9%

円ベース (億円)

	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益	2,800	2,501	298	11.9%	2,590	210
事業利益	415	339	76	22.4%	350	65

USドルベース (million \$)

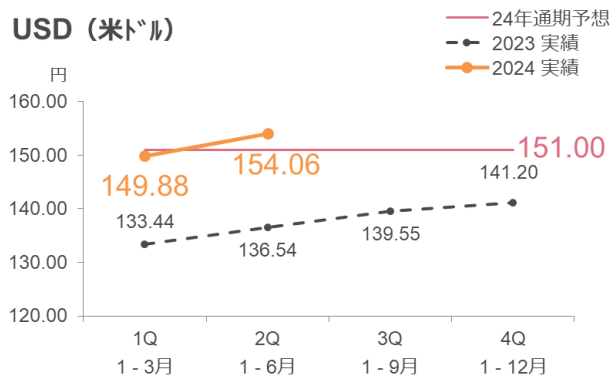
	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	920	883	37	4.2%
事業利益	145	123	23	18.6%

USドルベース (million \$)

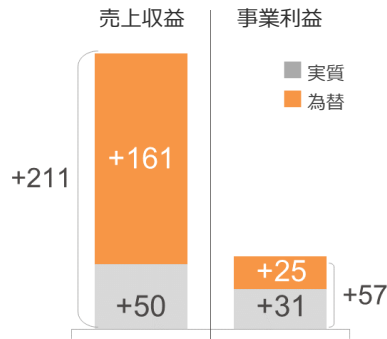
	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益	1,854	1,772	83	4.7%	1,850	4
事業利益	275	240	35	14.5%	250	25

通期予想レート : 151.00円 (米ドル)

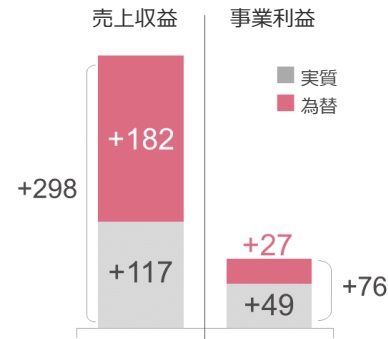
USD (米ドル)



連結為替影響 2024年2Q実績 (億円)



連結為替影響 2024年予想 (億円)



2024年度 2Q実績 / 2024年度 業績予想修正：協和キリン

(億円)	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益	2,330	1,992	338	16.9%
事業利益	411	361	50	13.7%

	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%
売上収益	4,920	4,422	498	11.3%
事業利益	910	960	-50	-5.2%

2024年 従来予想	修正額
4,730	190
820	90

グローバル戦略品 売上収益 (億円)

(億円)	Crysvita クリスビータ		Poteligeo ポテリジオ	
	24年2Q	23年2Q	24年2Q	23年2Q
日本	54	48	10	9
北米	587	460	141	94
EMEA	254	153	39	31
APAC	13	6	—	—
合計	910	667	190	134

協和キリンの決算発表はこちら

<https://ir.kyowakirin.com/ja/library/earnings.html>



2024年度 2Q実績 : Blackmores

円ベース (億円)

	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益*	334	-	334	-
豪州・NZ	149	-	149	-
東南アジア・韓国	80	-	80	-
中国	102	-	102	-
事業利益**	31	-	31	-

* Blackmores連結取り込み開始は23年3Qのため、2023年実績に1Q・2Qの実績は含まれない

豪ドルベース (million AUD)

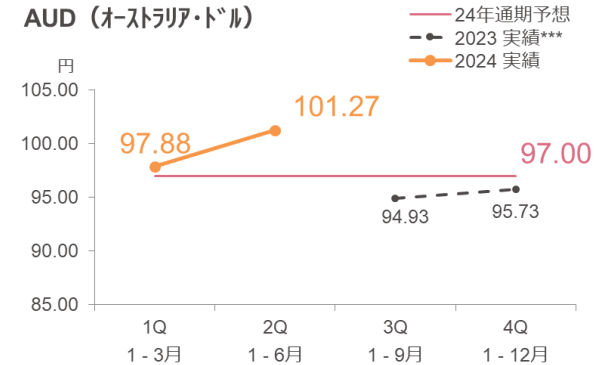
	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減	%
売上収益*	330	-	330	-
豪州・NZ	147	-	147	-
東南アジア・韓国	79	-	79	-
中国	101	-	101	-
事業利益**	31	-	31	-

[参考]

豪ドルベース (million AUD)

	24年2Q 実績	23年2Q 実績	%
売上収益*	330	320	3.0%
豪州・NZ	147	141	4.2%
東南アジア・韓国	79	93	-15.4%
中国	101	84	20.0%

AUD (オーストラリア・ドル)



* その他受託業務を含む合計

** PPA (Purchase Price Allocation) による無形資産等の償却費・一時コストを含む

*** 3Q:7-9月実績、4Q:7-12月実績

2024年度 業績予想修正 : Blackmores

円ベース（億円）

	2024年 修正予想	2023年 (下半期) 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益*	689	320	370	115.6%	674	16
事業利益**	58	-5	63	-	58	0

*Blackmores連結取り込み開始は23年3Qのため、2023年実績に1Q・2Qの実績は含まれない

豪ドルベース（million AUD）

	2024年 修正予想	2023年 実績	増減	%	2024年 従来予想	修正額
売上収益*	711	334	377	112.7%	724	-13
事業利益**	60	-5	65	-	62	-2

通期予想レート：97.00円（豪ドル）

[参考]

豪ドルベース（million AUD）

	2024年 修正予想	2023年 実績(年間)	2024年期央 前年比%(年間)
売上収益*	711	654	8.7%
豪州・NZ	-	300	+ 1桁半ば%
東南アジア・韓国	-	169	+ 1桁半ば%
中国	-	182	+ 2桁%

* その他受託業務を含む合計

** PPA (Purchase Price Allocation) による無形資産等の償却費・一時コストを含む

持分法適用関連会社 San Miguel Breweryの業績

前年の価格改定前に発生した仮需の反動によってEBITDAは減少するも、為替影響により受取配当金は増加。

	2023年10月-2024年3月		前年同期
(百万ペソ)	実績	増減 %	実績
売上高*	76,381	1.1%	75,578
営業利益*	15,425	-1.9%	15,728
営業利益率	20.2%	—	20.8%
減価償却費及び償却費他*	3,397	5.8%	3,212
EBITDA (営業利益 + 減価償却費及び償却費他)	18,822	-2.5%	19,309

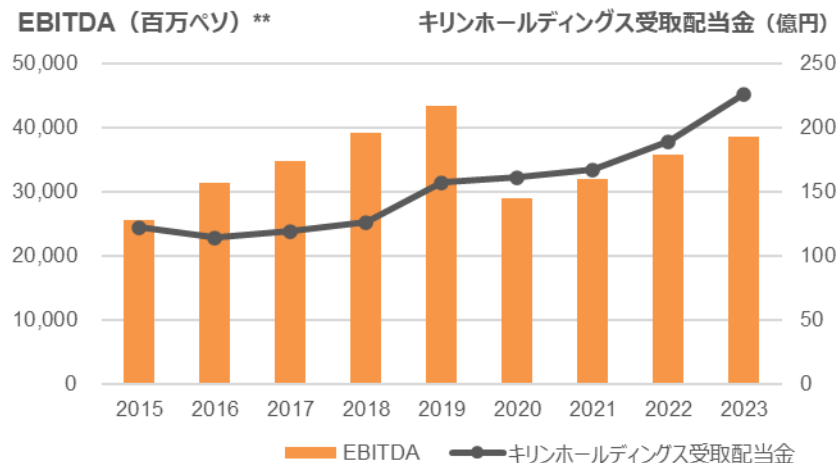
* 現地開示ベース（キリンホールディングス 2024年度2Q決算への取り込み期間：2023年10月～2024年3月）
出所：San Miguel Brewery Inc. Financial Highlights, Quarterly Reports

持分法による連結取込み及びキリンホールディングス受取配当金

(億円)	24年2Q	23年2Q	増減 %
当期利益 (SMB)	330	306	8%
連結取込	157	149	5%
配当金 (億円)	120	109	10%
1株当たり配当金 (ペソ)	0.60	0.60	—

為替レート：1ペソ = 2.66円（前年同期：2.47円）
（キリンホールディングス 2024年度決算への取り込み期間：2023年10月～2024年3月）
配当金についてはキャッシュインベースで計上

EBITDAと受取配当金の推移



- フィリピンの2024年GDP予測は約6%***
- 堅調な内需が成長を牽引し、2025年頃まで同程度の経済成長率で推移すると予測***
- San Miguel Breweryのフィリピンでの市場シェアは9割を超える

財政状態計算書 キャッシュ・フロー計算書

(億円)	24年2Q 実績	23年4Q 実績	増減
資産合計	31,349	28,696	2,653
資本合計	15,883	14,258	1,625
負債合計	15,466	14,437	1,029
ROIC*	—	8.0	—
グロスDEレシオ	0.56	0.58	—
ネットDebt／平準化EBITDA**	—	1.79	—
PBR(株価純資産倍率) ***	1.3	1.5	—

ROIC・ネットDebt／平準化EBITDAは4Qのみ開示

(億円)	24年2Q 実績	23年2Q 実績	増減
営業活動CF	1,087	589	498
投資活動CF	-1,160	-560	-600
フリーCF	-73	29	-103
財務活動CF	-216	156	-371

* 利払前税引後利益／(有利子負債の期首期末平均＋資本合計の期首期末平均) にて算出

** 平準化EBITDA＝事業利益＋減価償却費及び償却費(注)＋持分法適用会社からの受取配当金にて算出
(注) 減価償却費及び償却費は使用権資産の償却費を除いております。

*** 期末株価終値／(親会社の所有者に帰属する持分／期末発行済株式数(自己株式除く)) にて算出



財政状態計算書

▶ **資産合計**：棚卸資産、有形固定資産の増加及び Orchard Therapeutics plcの買収に伴うのれん、無形資産の増加等により前年度末に比べ2,653億円増加して3兆1,349億円となりました。

▶ **資本合計**：為替変動の影響等によるその他の資本の構成要素の増加等により、前年度末に比べ1,625億円増加して1兆5,883億円となりました。

▶ **負債合計**：新規借入等による社債及び借入金の増加等により、前年度末に比べ1,029億円増加して1兆5,466億円となりました。

▶ **グロスDEレシオ**：有利子負債が11%増加した一方で、親会社の所有者に帰属する持分が14%増加したことから、前年度末から減少しました。

▶ **PBR**：親会社の所有者に帰属する持分が14%増加した一方で、期末株価終値が0.3%の上昇だったことから、前年度末から減少しました。

キャッシュ・フロー計算書

▶ **営業活動CF**：運転資金の流入は91億円増加、法人所得税の支払額は106億円増加しました。

▶ **投資活動CF**：有形固定資産及び無形資産の売却により38億円、投資の売却により16億円の収入がありました。一方、有形固定資産及び無形資産の取得については、前年同期に比べ94億円増加し685億円を支出、また子会社株式の取得により482億円を支出しました。

▶ **財務活動CF**：長期借入により1,034億円、コマーシャル・ペーパーの増加により200億円の収入がありました。一方、長期借入金の返済により536億円、配当金の支払により368億円の支出がありました。

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.



よろこびがつなぐ世界へ Joy brings us together